



ながはま



Vol.7

平成19年10月15日発行  
発行：長浜市議会  
編集：議会だより編集委員会

だより



11月3日に40周年及び新校舎完成記念式典を迎える 長浜南小学校

平成19年9月定例会を9月3日から9月21日まで(19日間)の日程で開催いたしました。

正副議長就任挨拶、役員等一覧表	2頁
常任委員会報告	3頁
議員個人による主な質問事項と答弁内容	4～7頁
議案等審議結果・柏崎市見舞金・編集後記	8頁



議長 林 多恵子



副議長 溝口 治夫

8月の臨時議会におきまして、私達兩名が議員各位のご推挙を賜り、議長・副議長の要職に就くこととなりました。身に余る光栄でありますとともに、改めてその責任の重大さを痛感しております。

ご承知のとおり、市の財政状況は依然として厳しい状況下ではありますが、少子高齢化への対応や、教育文化の充実、都市計画・景観問題など多くの課題に対処していかなくてはなりません。

行政だけでなく、市民の皆さんとともに、豊かな地域社会の創造という目標を共有し、「協働でつくる輝きと風格のあるまち長浜」をめざし、誠心誠意努力していく所存です。

なごとぞ、市民の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 長 浜 市 議 会 役 員 等 一 覧 表

総務教育常任委員会	正 副	東野 司 寺村 正和	花川 清次 山口 忠義	押谷 友之 押谷與茂嗣	脇阪 宏一 青木 甚浩	竹内 達夫 林 多恵子
健康福祉常任委員会	正 副	野村 俊明 秋野 久子	北田 康隆 阪本 重光	浅見 信夫 溝口 治夫	吉川 富雄 福嶋 一夫	押谷 憲雄
産業建設常任委員会	正 副	福永 利平 金山 正雄	田中 伝造 武田 了久	西尾 孝之 北川 薫	伊藤兵一郎 吉田 豊	茂森 伍朗
議会運営委員会	正 副	福嶋 一夫 竹内 達夫	北田 康隆 吉川 富雄	福永 利平 寺村 正和	茂森 伍朗 東野 司	
中心市街地問題調査特別委員会	正 副	吉田 豊 武田 了久	押谷 友之 押谷 憲雄	浅見 信夫 金山 正雄	福永 利平 福嶋 一夫	
決算特別委員会	正 副	東野 司 寺村 正和	田中 伝造 脇阪 宏一 伊藤兵一郎 武田 了久 青木 甚浩 金山 正雄	花川 清次 北田 康隆 秋野 久子 吉川 富雄 野村 俊明 福嶋 一夫	西尾 孝之 浅見 信夫 福永 利平 北川 薫 押谷 憲雄 吉田 豊	押谷 友之 竹内 達夫 茂森 伍朗 押谷與茂嗣 阪本 重光
議会だより編集委員会	正 副	武田 了久 吉田 豊	花川 清次 福永 利平	西尾 孝之 溝口 治夫	伊藤兵一郎	
長浜水道企業団議会議員		田中 伝造 福永 利平	花川 清次 寺村 正和	脇阪 宏一 林 多恵子	浅見 信夫 吉田 豊	
湖北広域行政事務センター議会議員		田中 伝造 茂森 伍朗	西尾 孝之 押谷 憲雄	北田 康隆 金山 正雄	竹内 達夫 林 多恵子	伊藤兵一郎 吉田 豊
湖北地域消防組合議会議員		押谷 友之 吉川 富雄	秋野 久子 押谷與茂嗣	福永 利平 青木 甚浩	武田 了久 林 多恵子	

# 委員会報告

## まちづくり基金を積立

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、十九年度一般会計補正予算並びに、条例の制定二件、条例の一部改正四件、長浜市土地開発公社定款の一部変更について、町、字の区域及び名称の変更について、以上九議案であり慎重審議の結果、いずれも可決するものとしました。

▼補正予算の主なものは、協働でつくる長浜まちづくり基金条例の制定に伴う基金積立金二億二千万円や小中学校のトイレ修繕などに係る維持管理経費、図書館のコンピュータシステム統合事業に係る債務負担行為の追加などです。

▼まちづくり基金については、合併特例債を活用し、住民自治にかかる地域づくりのための活用資金との説明でありましたが、使用目的を明確にし、新市の一体感醸成のために有効的に活用されるよう求めました。

▼「長浜市公益通報及び不当要求行為等の対策に関する条例」の制定は、市役所の職員やその他関係者、市民が、明らかに不当な行為、法令違反行為など公益が犯されるような事実を知ったとき、通報窓口はその旨を通報することができ、通報した者が不利益を受けないように保障する事などを定めたものです。

▼その他、郵政民営化法等の施行に伴う関係条例の一部改正などです。



## 入院医療費助成の拡大

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、補正予算案他、三議案で、いずれも可決及び認定するものとしました。

▼平成十九年度一般会計補正予算の民生費では、湖北地域働き・暮らし応援センター事業への負担金と、小学校卒業までの子どもの入院医療費助成、十月一日から半年分です。

▼衛生費では、精神しょうがい者社会復帰施設整備補助金として、長浜青樹会病院改築、精神デイケア等への補助をするものです。

▼平成十九年度長浜市病院事業会計補正予算では、特別寄付を受けて産婦人科病棟にセントラル・ステーションモニターを購入するものです。

▼平成十八年度長浜市病院事業会計決算の認定及び利益の処分については、診療報酬の改定や入院患者数の減少等により約二億三千万円の純損失となり、補填には前年度繰越利益剰余金を充て、翌年度繰越利益剰余金は約五百七十万円となりました。

▼長浜市子ども医療費助成条例の制度については、平成十九年十月一日から小学生の入院医療費を助成し、平成二十年四月一日から中学生の入院医療費を助成するものです。



## サイエンスパークへ企業第一号

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、平成十九年度長浜市一般会計補正予算、長浜市手数料条例の一部改正について他十一議案と請願三件についてです。審査前に市道平方面・高田線の拡幅の現地、長浜サイエンスパークへの第一号企業誘致となりました星野科学株式会社



サイエンスパーク（田村町）

会社の工場建設予定地、県事業として進められ植栽のみを残し完成しました長浜港湾の整備事業を視察し、現地の把握を行いました。

▼平成十九年度一般会計補正予算は市道平方面・高田線整備事業に四千万円、農地・水環境保全向上対策負担金など農業振興費八百五十九万円等を慎重に審査を行い全員一致で可決するものとしました。

▼平成十九年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算、平成十八年度長浜市びわ水事業会計決算の認定及び利益の処分につきましては全員一致で可決及び認定するものとしました。

▼条例の一部改正六議案他、市道の認定など三議案については可決するものとしました。

▼「アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し前頭検査へ予算措置の継続を求める」など三件の請願につきましては賛成少数により不採択とするものとなりました。

# 個人質問

## 臨阪 宏一議員

道徳の実施状況について

問 道徳の授業が、保幼小中と継続性の中で営まれ、しかも、確かに年間三十五時間確保され、その内容も充実しているのかを問う。

答 計画的・系統的な取り組みについて不十分な学校もある。指導要領の指針に沿った継続性についても十分とはいえない。今後、子どもたちに確実に

後期高齢者医療制度について  
問 来年四月から始まる七十五歳以上の高齢者を対象としたこの制度は、年金からの保険料の天引き、保険料滞納者からの保険証の取り上げ、保険で受けられる医療の制限など高齢者の生活と健康を脅かすものとなっている。新制度に対する考え方や国では、平均月額六

千二百円と試算されている保険料を年金から天引きされる対象者について問う。また、六十五歳から七十四歳までの前期高齢者も、国保料を年金から天引きされるが何人か、将来にわたり持続可能な医療保険制度とするため必要なものと考え、広域連合議員として県医療広域連合に市民の声を反映させる。新制度の市

「コミュニケーションスクール」「連携教育」への取り組みを考へる時ではないかを問う。

答 不登校については、聞き取りや小学校での様子から小学校の様々な段階で既に不登校傾向を示していたことが分かってきた。担任を中心に更なる自配り気配りをして、地道で粘り強い取り組みを継続して実施する。さらに「地域共同体の再生」という側面からも、「新しい学校づくり」の試行を含め、そのあり方を検討していく。

「コミュニケーションスクール」について  
問 市内六中学校の不登校率は三・九二％、約一十五人に一人と全国平均を大きく上回っている。それへの対応と、各校様々な問題を抱える中、

## 西尾 孝之議員

指定管理者制度の効果について

問 指定管理者制度を導入し民間に経営をまかせ、大きな経費の節減ばかりか、大きな利益を生み出したグリーンパーク山東の例がある。長浜市の場合、成果はあったのか、サービスの質は維持されているのかを問う。さらに、管理者決定の過程について問う。

答 四十二施設の状況は導入後三千五百万円程度の経費削減となった。文芸会館は、半年間だが、六割以上のコストダウンになった。サービスの質は施設すべてで協定書どおりに管理されていると聞いていたが、サービスの一層の向上に努めたい。現行の管理者は一部を除き、合併を控えて混乱を生じないよう非公募方式

## 押谷 憲雄議員

ネット犯罪から子どもを守る対策について

問 小中学生携帯保有率と家庭でのパソコン利用環境とネット犯罪の被害者また加害者にならない使い方研修と指導について問う。

答 使用率は全国平均を下回っているが、増加の傾向にある。「情報に係わる安全教育」は保護者の協力が必要で、PTAと連携し啓発に努めていく。住民自治の確立と拠点整備について

安心なまちづくりとAED設置について  
問 AEDの設置状況および設置基準について及びAED設置マップについて問う。  
答 市が設置したものと医療機関、ホテル等民間併せて四十台あり、AEDの設置マップの作成に取り組んでいく。



問 地域まちづくり協議会への取り組みと拠点整備について問う。  
答 地域の取り組み状況に差異はあるが熱心に取り組んで頂いている。拠点整備については検討組織を設け施設整備に取り組み、五年以内に一施設を建設する。



## 寺村 正和議員

医療マップの必要性について

**問** 医療分業が進む中、利用しやすい医療機関を明確にするための医療マップの作成について問う。  
**答** 医師会、歯科医師会、薬剤師会と相談しながら医療機関の内容がわかりやすい医療マップの作成を検討していきたい。



遊具施設の管理体制について

**問** 遊園地及び公園に設置されている遊具施設の管理体制がどうなっているのかを問う。  
**答** 大規模な児童遊園地などは、毎月目視による点検と年一度専門業者による安全点検を行っている。自治会の管理下にある公園は、遊具の修繕に対して補助をしている。今後自治会と共同で安全に遊具の使用ができる維持管理に努める。

## 竹内 達夫議員

長浜市社会福祉協議会の給与格差について

**問** 社会福祉協議会の正期職員と常勤嘱託職員（十年以上も勤めている）は、同じ仕事、資格もあるのに、年間で約三十万四千円も格差がある。是正すべきと考えるが当局の考えを問う。

**答** 社会福祉協議会には正期職員二十六名、常勤嘱託職員四十七名の職員がいる。介護報酬の二度の引き下げや指定管理費制度の導入で厳しい経営

竹生島のカワウ銃器駆除の安全対策について

**問** 竹生島のカワウ銃器駆除の安全対策について問う。  
**答** 滋賀県では事故を踏まえ、「カワウ駆除に伴う事故調査検討会議」を立ち上げ、安全対策に取り組んでいる。今後は事業主体を一本化し、万全な体制で駆除が実施できるように、県に要請していく。



定していきたい。

住宅改修資金等貸付事業未済額について

**問** 同和事業の住宅改修資金等貸付の返済期限がすぎて十数年にもなるが、未済額と回収見込みについて問う。

**答** 平成十八年末で未済額は、約一億六千六百万円。未済金回収には非常に困難なケースもある。



## 福岡 一夫議員

安心安全のまちづくりについて

**問** 学校の耐震化及び避難所のバリアフリー化について問う。  
**答** 本市の小中学校の耐震化率は全八十五棟中七十棟、全三十九箇所の



避難所の内、整備されているのは十七箇所という結果になっており、今後バリアフリー整備ができていない施設については、耐震化の促進と整備に努めてまいりたい。

**問** 子どもの犯罪の被害から守る条例の進捗状況について問う。  
**答** 子どもを取り巻く環境は極めて厳しく、不審者による声かけ等が断続的に発生している。今後とも保護者、自治会の協

## 押谷 友之議員

鍛冶屋町の鍛冶場について

**問** 鍛冶屋町はかつて鍛冶屋さんが軒を並べていた。今ではその痕跡も薄らいでいる。僅かだが鍛冶職人が仕事をした鍛冶場の道具類、機器類も残っており、長浜市の貴重な「歴史遺産」「技術遺産」として次代に継承されるべきものと思うが当局の見解を問う。



横に協力を求め、地域の方とともに子どもが犯罪に巻き込まれることのない環境の整備と子ども自身の安全教育の取り組みにいつそう努めてまいりたい。

**問** 公衆提案型協働事業の募集について  
**答** 公衆提案型協働事業募集について問う。  
**答** 行政改革大綱で市民と行政の協働による地域経営を位置づけた。提案の制度も非常に有効な制度であり、基金の運用益の有効活用を図る手段として導入に向け検討したいと考えている。

ある『長浜市指定有形文化財』として保護を図れるよう、検討してまいりたい。

**問** 鍛冶屋町は、古き良き仔木いが残り、懐かしさと癒しの町並み空間を見せている。鍛冶屋町の景観保全、草野川の修景についての考え方を問う。

**答** 水を未然に防ぐ河川としての治水整備を県当局へお願いする中で、親水空間と自然が共生する河川のあるべき姿を模ってまいりたい。

## 伊藤兵一郎議員

市立長浜病院療養型病棟の存続について

**問** 療養型病棟の存続にむけた努力を求める立場から、国、県の方針具体化について問う。

**答** 六月末に厚労省より県あてに地域ケア体制の整備に関する基本指針が示され、県により「地域ケア体制整備構想」の策定が進められており、八月に医療機関へのヒアリングがされた。長浜病院

特別養護老人ホームの増床について

**問** 特別養護老人ホームの増床状況について問う。

**答** 四月から青浄苑で六十床、高月町で六十床（新規）の増があったが、その後の増床は具体化していない。



## 東野 司議員

ユニバーサルデザインの広がりについて

**問** 工業デザインから始まったユニバーサルデザインがインフラ整備へ、そして今、心のユニバーサルデザインへと広がりにつつあるが、優しく思いやりを持った心を一人でも多くの人に育んでもらう為、いじめを無くす一手法としても教育分野に取り込む事はできないか問う。

**答** 具体的活動を展開していく事で、いじめ問題の解消にも十分有効であ



ると考えており、今後、教育活動として生かせる場や方法について検討してまいりたい。

長浜地方卸売市場の課題について

**問** 第八次滋賀県卸売市場整備計画への対応について問う。

**答** 近代化整備計画の策定も含め市場が市や関係団体と連携して主体的に検討を進める事が重要である。

**問** 長浜地方卸売市場の今後の取組むべき課題について問う。

**答** 安全安心な市場の構築や信頼され親しみを感ずてもらえる取組みや生産履歴表示や地産地消・特産品開発など推進する必要がある。

## 押谷與茂副議員

新しい長浜のまちづくりについて

**問** 新長浜市が誕生して一年半余り経過したが、特色ある地域の発展と相互理解を深めるため、どのような施策で、いつまでを自途に一体感の醸成を行い、何をもちて評価するのかを問う。

**答** 今までの伝統、それぞれ立場を尊重しつつも合理化も必要であり、相応の時間が必要である。

か。住民自治の観点から

**答** 地域づくり協議会を立ち上げていただいた。また、すばらしい人材もあり個性を尊重し、やっていきたい。



## 秋野 久子議員

幼保一元化の取り組みについて

**問** 幼保一元化で保育水準は低下しないか。今何がかわるのが、市の取り組みについて問う。

**答** 平成二十一年度から幼保連携型の認定こども園を実施、三歳児から五歳児は短時部と長時部を設け午前の四時間は混合クラスとする。給食は実施に向け検討。申し込みは従来と同じ方法。幼稚園と保育園の機能が相乗効果を発揮することを期待している。推進委員会

で協議を進めているが、新規制度であり、パブリックコメントとして公表を予定している。

**問** こみ有料化が検討されているが有料化がこみ減量につながるのか。加入自治体でどのように議論されてきたのか。現行制度はなぜ不公平なのか。こみ問題は拡大生産者責任で解決すべき。こみ減量化に取り組んだ市民の努力を無にし、住民負担を増す有料化はやめるべきではないか。

**答** こみ有料化が検討されているが、パブリックコメントとして公表を予定している。



**答** 湖北広域行政事務センターこみ指定袋制度検討委員会で検討されており、センターに対して広く市民の意見を聞き進めるよう要請していく。

## 野村 俊明議員

**問** 学校給食に於ける食育に  
対する考え方について

**答** メニューについては  
何をもちて決めていくの  
かを問う。

**問** 栄養の偏りや不規則  
な食事、肥満や生活習慣  
病の増加、伝統的な食文  
化の危機、食の安全等、  
様々な問題が生じている。  
このような問題を解決す  
るキーワードが「食育」  
ではないかと考える。



**問** 地産地消の考え方を  
取り入れているかを問う。

**答** 関係者と協力し、  
さらに地産地消の促進  
に努めていく。

**問** 残飯についてを問う。  
食物の生産等にかかわる  
人々へ感謝の心を持つ子  
どもを育てるためにも、  
食は動植物の命を受け継  
ぐものであり、感謝の気  
持ちの表れとして、残さ  
ず食べ、無駄なく調理す  
ることが大切であるとい  
った指導について、力を  
注いでいく。

## 福永 利平議員

**問** 公民館の改築計画、運営  
等について

**答** 公民館の改築計画を  
問う。

**問** 厳しい財政環境の中  
ではあるが、地域に密着  
したコミュニティ機能の  
拡充などを視野に入れな  
がら、整備計画の策定に  
向け、庁内に検討組織を  
設け取組む。

**問** 地域性を生かした公  
民館のあり方について問  
う。

**答** 中央館的な公民館も  
あれば地域をベースに運  
営されているもの、一館

当たりの人口が千六百  
人の地域から約二万人の  
地域まで様々で、地域の  
特性を生かした拠点施設を  
目指し「集い」「学び」「

つながり」という公民館  
の大きな役割を果たすこ  
とが大切と考える。

**問** 公民館の運営につ  
いて問う。

**答** 地域の能力を活用し、  
住民サービスの向上と効  
率化を図る指定管理者制  
度の導入を検討するが地  
域組織であるべきと考え  
る。指定管理者制度導入  
にあたっては社会教育法

の理念の具現化に行政が  
指導を行っていく。



## 金山 正雄議員

**問** 交通停滞対策について

**答** 市道高田神照線の日  
赤駐車場入口付近で交通  
停滞が増大しており、非  
常に危険な状態である。  
行政としての対策を問う。

**問** 新病院がオープンし  
て以来交通停滞が発生し  
たことから、平成十四年  
に日赤に対して交通停滞  
緩和策を講じるよう申し  
入れを行った。その後、  
病院におかれましては、  
警備員の配置、第三駐車

場の整備、電話予約等対  
策を導入されている。今  
後も、日赤に対して具体  
的な方策を提案して行政  
指導を行っていく。

**問** 中学校の修学旅行は  
目的と実態が合っている  
のかを問う。

**答** 修学旅行の目的は、  
「未知の世界で文化・自  
然・人々と出会う共同生  
活の中でよりよい仲間づ  
くりを努め、集団行動を

通して規律や秩序を守る  
態度を養う」点にある。  
各学校で目的に合った充  
分な取組みがなされて  
いる。



## 吉川 富雄議員

**問** 消防団について

**答** 社会の要請により消  
防団員の確保が困難とな  
っている。その対策につ  
いて問う。

**答** 今後、企業、事業所  
大学入理解と協力を求め  
る。

**問** 防災行政について

**答** 総合防災センターは  
ありとあらゆる災害に対  
応できる拠点であり今後  
湖北地域消防組合の本部  
を併設する形で浅井支所  
を活用してはどうかを問  
う。

**答** 将来的には望ましい  
施設と考える。現在、湖  
北地域消防組合で検討を  
している。新庁舎の持つ  
べき機能を検討する中で  
浅井支所の活用も含め検  
討する。

**問** 防災や自主防災組織  
の結成支援について問う。

**答** 自治会の負担を軽減、  
組織化促進のため、計画  
策定、資機材の整備に対  
し補助制度を設けている。  
**問** 非常時の外国人の安  
全確保について問う。

**答** 高齢者等、災害時、  
要援護者と同様、市民自  
治会、企業と連携し災害  
時の援護支援体制の充実  
強化を図る。



第三回定例会（九月）

議案 第五十六号	平成十九年度長浜市一般会計補正予算（第二号）	可決（多数）
第五十七号	平成十九年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第一号）	可決（全員）
第五十八号	平成十九年度長浜市病院事業会計補正予算（第一号）	可決（全員）
第五十九号	平成十八年度長浜市びわく水道事業特別会計決算の認定について	認定（全員）
第六十号	平成十八年度長浜市病院事業特別会計決算の認定について	認定（多数）
第六十一号	公益通報及び不当要求行為等の対策に関する条例の制定について	可決（全員）
第六十二号	協働でつくる長浜まちづくり基金条例の制定について	可決（多数）
第六十三号	長浜市子ども医療費助成条例の制定について	可決（全員）
第六十四号	長浜市情報公開条例等の一部改正について	可決（全員）
第六十五号	長浜市政治倫理の確立のための長浜市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第六十六号	長浜市職員退職手当条例の一部改正について	可決（全員）
第六十七号	長浜市恩給条例の一部改正について	可決（全員）
第六十八号	長浜市手数料条例の一部改正について	可決（全員）
第六十九号	長浜市市営住宅条例の一部改正について	可決（全員）
第七十号	長浜市地区計画の案の作成手続に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第七十一号	長浜市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第七十二号	長浜市公共下水道使用料条例の一部改正について	可決（多数）
第七十三号	長浜市水道事業給水条例及び長浜市簡易水道給水条例の一部改正について	可決（全員）
第七十四号	長浜市土地開発公社定款の一部変更について	可決（全員）
第七十五号	町・字の区域及び名称の変更について	可決（全員）
第七十六号	長浜市営土地改良事業の計画変更について	可決（全員）
第七十七号	市道の路線の認定について	可決（全員）
第七十八号	田根財産区管理会の委員の選任について	可決（全員）
第七十九号	田根財産区管理会の委員の選任について	可決（全員）
第八十号	田根財産区管理会の委員の選任について	可決（全員）
第八十一号	田根財産区管理会の委員の選任について	可決（全員）
第八十二号	田根財産区管理会の委員の選任について	可決（全員）
第八十三号	田根財産区管理会の委員の選任について	可決（全員）
請願 第三号	アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、全頭検査への予算措置の継続を求める請願書	不採択（少数）
第四号	日産をはじめとするEPA路線を転換し、自給率の向上と食糧主権にもとづく農政を求める請願書	不採択（少数）
第五号	品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の育成を求める請願書	不採択（少数）
決議案 第一号	長浜市非核平和都市宣言に関する決議	可決（全員）
意見書案 第一号	後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書	可決（少数）

新潟県柏崎市に

見舞金を！

新潟県中越沖地震の被災地、柏崎市に災害見舞金二十万円を贈るため、押谷與茂副前副議長が七月三十一日、柏崎市役所を訪問し、会田洋市長に見舞金を手渡しました。

見舞金は各議員が毎月積み立てている議員クラブ会計より支出しています。被災地の一日も早い復興を心より願っております。



編集後記

合併による新長浜市の誕生以来、早一年半余りが経過いたしました。その間、新長浜市の将来像「ひと・まち・みどりが結び合う協力創造都市」の実現に向け、我々市議会議員二十八名は、それぞれの分野で多くの課題に対し、市民の皆さんと共に取り組んでまいりました。徐々にではありますが地域の個性を活かした新市の基盤が醸成しつつあると感じております。

八月の臨時会において、議長をはじめ、各役職人事が改選されました。新市陣で更なる新市基盤づくりに全力投球させていただきます。市民皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

市議会の活動内容を市民の皆さんに理解していただくため、引き続き「ながはま市議会だより」を発行いたします。ご愛読頂き、皆様方の「意見・ご要望」を是非お寄せ下さい。

ながはま市議会だより編集委員会

一般質問の録画映像「じつじつセンター」  
ネットで見られる形です。

<http://www.discussvision.net/nagahamasi/index.html>